

‘昭和・平成・令和’3時代を駆け抜けた 男たちの熱き物語!



1949年生まれ

前田 俊学

SYUNGAKU MAEDA

1953年生まれ

伊藤 俊男

TOSHIO ITO

1960年生まれ

大林 清

KIYOSHI OOBAYASHI

前田 やっぱり忙しくてそういうこと考える暇がなかったですね。全然横を向く暇がなかったそれがかえって良かったのかもしれないですね。

伊藤 私はほぼ同時期に入社した仲間が4人いたんですよ。そういう連中と残業して1時くらいに終わって、そこからみんなで集まって3時くらいまで話したりなんかしてました。そういうので発散してましたね。今それやったら大変なことになりますね(笑)

大林 残業は12時過ぎること何回ありましたね。3時くらいになったら家帰るのやめてましたね。



前田 あ頃はまだコンピュータ会計じゃなくて手書きで元帳とかの書類を作ってた、それもさるばんでやってましたね。試算表がなかなか合わなくて苦労した記憶があります。

伊藤 前田さんが言ったようにコンピュータじゃなかったの、今だったら考えられないんですけど合わないんですよ。1年分の試算表だったんですけど合わなくて徹夜で朝までやったことありますね。

大林 お二人と同じで申告書は手書きでカーボン入れて3枚複写にして書いて、一度間違えると全部ダメでやり直して、途中で何度もありましたね。途中から僕、ズルして1枚だけ書いてコピー取って3枚にしてみましたね。鉛筆なので消せるから。

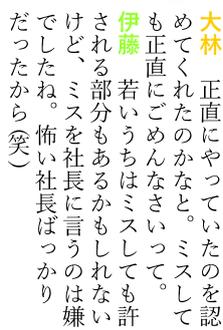
伊藤 そんな事してたの？(笑)うちはそんなのしたら大変だったからちゃんと書いてましたね。

前田 今まで1度も辞めないで続けてこられた理由とは？

前田 やっぱり忙しくてそういうこと考える暇がなかったですね。全然横を向く暇がなかったそれがかえって良かったのかもしれないですね。

伊藤 私はほぼ同時期に入社した仲間が4人いたんですよ。そういう連中と残業して1時くらいに終わって、そこからみんなで集まって3時くらいまで話したりなんかしてました。そういうので発散してましたね。今それやったら大変なことになりますね(笑)

大林 残業は12時過ぎること何回ありましたね。3時くらいになったら家帰るのやめてましたね。



前田 とにかく誠心誠意やるってことを心掛けてやっていましたね。

大林 正直にやっていたの認めてくれたのかなど。ミスしても正直にごめんなさいって。伊藤 若いうちはミスしても許される部分もあるかもしれないけど、ミス社長に言うのは嫌でした。怖い社長ばかりだったから(笑)

前田 私はやっぱり現場主義に徹するというところで毎月の巡回監査、これを徹底してやって注意義務を相当守ってましたね。

伊藤 私も同じですね。だいたい月の半分は外に出ていますね。事務所にも行く必要がないから昔からとにかく現場に行ってる。決算もお客さんのところで行くのでお客さんのところで行ってましたね。

大林 そのとおりですね。私も先輩に現場を見なさいって言うのは言われていたので、時間があればお客さんのところに行くというところは心掛けています。

後輩にアドバイスをお願いします。

前田 とにかく仕事をいっぱいやって忙しくて忙しくて余計なことを考える暇がないくらい進んでもらえたらいいですね。

大林 自分の時代とは考え方が違うとは思いますが、やっぱり責任を持つという意識を持って取り組んでもらいたいですね。

伊藤 何事にも積極的に行動してほしくていいですね。知りたいたいことがあればそれを突き詰めてほしいです。



前田 36番に「常に創造的な仕事をする」というのがありますけど、毎日の仕事の中でこれだのかというのを常に考えているのと同じに「なぜ？」という疑問を持って改善改良を続けることが創造的な仕事に繋がって、進歩に繋がるといえることが書かれており、私の好きな項目です。

伊藤 私は項目ではないんですけど「6つの精進」というのが好きですね。特に「誰にも負けない努力をする」「謙虚にしておごらず」「反省する」とかですね。最後に「感性的な悩みをしない」というのがあるんですけど、昔はミスしたことに対して悩んでいたので、6つの精進に触れてから仕事を前向きに取り組めるようになったっていうのがありますね。なので何かあればこれを大事にしてやっていきますね。

大林 私は「土俵の真ん中で相撲を取る」ですね。これができたんだなことが起きても時間が余裕を持ってるので、これをどんな時にも心掛けて常にできればいいなと思いますね。

大変だったことや辛かったことは？

伊藤 若い頃、年配の社長さんの中にはクセのある人もいらっしやあって、そういう社長さんと相手にするのが本当にきつかったですね。

前田 だけど私はかえってそういう年配の社長さん方と付き合ってた人間的にも育てられたっていう思いはありますね。

大林 昔の社長さんって勇気があるよ。人間、間違いはあるよ。っていう方が多かったですね。

前田 36番に「常に創造的な仕事をする」というのがありますけど、毎日の仕事の中でこれだのかというのを常に考えているのと同じに「なぜ？」という疑問を持って改善改良を続けることが創造的な仕事に繋がって、進歩に繋がるといえることが書かれており、私の好きな項目です。

伊藤 私は項目ではないんですけど「6つの精進」というのが好きですね。特に「誰にも負けない努力をする」「謙虚にしておごらず」「反省する」とかですね。最後に「感性的な悩みをしない」というのがあるんですけど、昔はミスしたことに対して悩んでいたので、6つの精進に触れてから仕事を前向きに取り組めるようになったっていうのがありますね。なので何かあればこれを大事にしてやっていきますね。

大林 私は「土俵の真ん中で相撲を取る」ですね。これができたんだなことが起きても時間が余裕を持ってるので、これをどんな時にも心掛けて常にできればいいなと思いますね。